

取心かし 財津の旅日記



冬の寒波が来るという日、意外と知らない**倉敷**の町をそぞろ歩いて来ました。今迄は車で行くことが多く、位置関係が理解できていませんでした。今回は、電車を使って地図を片手に自分の足で歩いて来ました。**倉敷駅** 11時32分着。1目的地「**林源十郎商店**」へ向かいました。「**林源十郎商店**」は、1657年以來の**薬種商**として変遷を経てのち現在岡山で医薬品紙合卸「エバルス」という大きな会社になっています。後から分かったのですが本館2階の記念館には気付かず、庭奥にある「**CONO**」という石窯ピザ屋さんへ吸い寄せられ、**生ハムピザランチ**を多〜いなぁと思いながらも完食！お腹一杯になったところで、直ぐ近くの**阿知神社**の石段を軽快に駆け上がったのではなく、ゆっくり登りました。**阿知神社**は、応神天皇(西暦270年頃)の時代海に浮かぶ小島に造営されたとありました。さしづめ、この辺りは海だったようです。**松皮葺**きの立派な本殿や日本最古といわれる**鶴亀石(磐坐いかり)**を有する風格のある神社でした。春は桜・藤が咲き市内を一望できる素晴らしい景観だろうと思われました。次に「井上家」「倉敷民芸館」を訪ねましたが、いずれも改修中でした。**倉敷川**沿い柳並木をブラブラして大原美術館前の「**大原本邸**」を見学。新型コロナウイルス騒ぎと平日とあいまってお客は、稀一人。大旧家の土間は天井高く凛とした格式の高さを感じ、又、立ちならぶ蔵の連なりに応時の繁栄ぶりを感じました。そして蔵の一番奥に「**離れ座敷**」の案内が、小さな玄関の先には8畳2間の座敷にやわらかい冬の陽ざしが降りそそぐ大原孫三郎の愛した空間が広がっていました。外国から取り寄せたという大きめの窓ガラス越しの庭は、自然の松もみじ南天が点在し、何ともくつろげるどこか懐かしさを覚える場所でした。(一人だった事が幸い)次は駅への帰り途、「**大橋家**」に立ち寄りしました。その昔米問屋・金融業・新田開発で財を成したという「**大橋家**」も訪れてびっくりしました。出入口は通り過ぎてしまう程質素に見えますが、使用人20数名が寝泊りする**広い長屋**を両脇に持つ造りで、大八車で米俵が奥の土間に運べる様工夫されていました。大土間、商の間、広い台所、すべて良く拭き清められており、多くの人が立ち働いた様子が目に浮かぶ様でした。家の内も**小庭・坪庭・客間の庭**を上手に配置し採光充分でした。店(表)と奥(裏)が見わたせる位置に仏間、奥座敷につながる内蔵など金沢や松江で見た武家屋敷に比べ、のびやかな豊さを感じました。政治中心の池田藩に比べ天領地として町民が経済的な力を持ち、その後の岡山の発展に力を尽くされたのだと思いました。倉敷が戦災をまぬがれ、古い町並が残ってよかったなぁ〜と思いながら、電車にぼーと乗ったら笠岡行きでした。あわてて「西阿知」で乗り換え、無事16時40分岡山へ帰りました。総額4000円の一人旅でした。もう一度改修中の所へ行く予定です。



鹿田薬局

第56号

岡山県北厚生町
2-7-15
(086)226-3711

楽楽ニュース



- 土間
- 庭
- 蔵



大原本邸

阿智神社本殿

春は**三寒四温**と言われるように、暖かい日が続いたと思ったら寒い日に逆戻りというように気候が不安定な季節。
 日中は過ごしやすくても朝晩はまだ冷え込みやすく、このような気温の変化に身体が対応しきれなくなると、**自律神経のバランス**が乱れやすくなります。
 春は、**進学、就職、転勤、異動**など「**生活環境の変化**」が加わることも多く、さらにバランスが乱れる要因となります。そこで**感応丸氣**は、邪気を払い、**氣の巡り**と身体と心の**バランス**を整えます。

ストレス

イライラ

倦怠感

うつ

不眠

集中力低下

不安

かんとうがんき

救心製薬 **感応丸氣**

お試し3回分 **1,377** 円(税込)

1箱 **38,500** 円(税込)

お花プレゼント

☆☆キャンペーン☆☆

《引き換え期間》

令和2年2月27日(木)・28日(金)・29日(土)

処方箋以外の商品をお試し3,000円以上お買い上げで

ステキな鉢植えをプレゼントいたします。

※画像はイメージです。